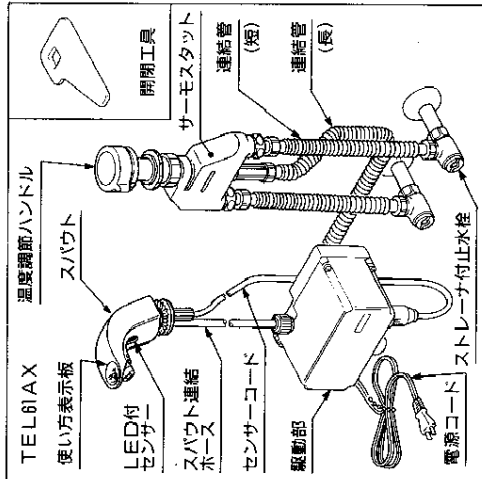


# アクアオート(自動水栓)取付説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 仕 様

手元温度調節ハンドルタイプ(AC100V)



電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	常時2W(作動時5W)
電源コード	1m
給水圧力	最低必要水圧 (流動時) 0.05MPa(0.5kgf/cm <sup>2</sup> ) 最高水圧 0.59MPa(6.0kgf/cm <sup>2</sup> )
給水部接続	15A
周囲使用温度範囲	0°C~55°C
周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感知距離	自動設定(学習機能内蔵)

## 使用条件

1. 使用水圧  
給水・給湯圧力  
{ 最低必要圧力...0.05MPa(0.5kgf/cm<sup>2</sup>)  
最高圧力...0.59MPa(6.0kgf/cm<sup>2</sup>)  
給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。  
給水圧力が0.59MPa(6.0kgf/cm<sup>2</sup>)を超える場合、市販の減圧弁で0.20MPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)程度に減圧してください。

## 取 付 け 前 に

1. 電気製品ですので駆動部に水をかけないようご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
2. 電源はAC100V(50/60Hz)、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
3. 乾電池タイプは配線工事は不要です。(付属の電池をご使用ください。)
4. 給水圧力範囲は、0.05~0.59MPa(0.5~6.0kgf/cm<sup>2</sup>)です。この圧力範囲内でご使用ください。
5. 給水は上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
6. センサー一面を傷つけない様十分ご注意ください。
7. スパウトを陶器に固定した後、電源を入れてください。電源を入れてから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますので、その間にセンサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなくなどしておいてください。
8. 水石けん入れ又は供給装置とセットされる際石けん泡がセンサー一面に付着すると誤感知する場合があります。

## 給水取出し位置一覧表

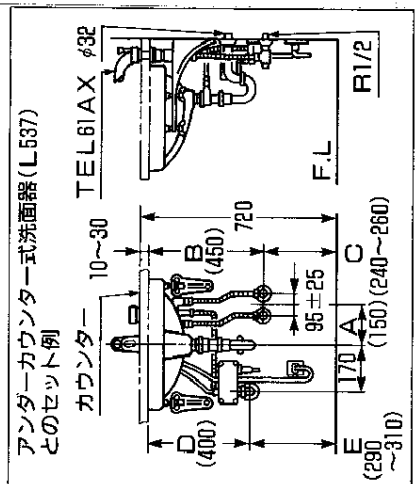
(注) 陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は次表を参考の上取付けてください。

取付可能洗面器	A	B	C	D	E
L517	170	470	250 (280)	420	300 (350)
L525RA	150	450	240~280 (270~290)	400	290~310 (320~340)
L537	170	450	240~280	400	290~310
L548	150	500	190~210 (220~240)	450	240~280 (270~290)
L581BA	150	500	190~210 (220~240)	450	240~280 (270~290)
L582BA	150	500	190~210 (220~240)	450	240~280 (270~290)

\*印はカウンタート下面からの寸法でカウンタートの厚さは10mm~30mmです。  
C、E欄の( )寸法はカウンタート高さが750mmの場合です。

## 完 成 図 (例)

L537+TEL61AXの場合



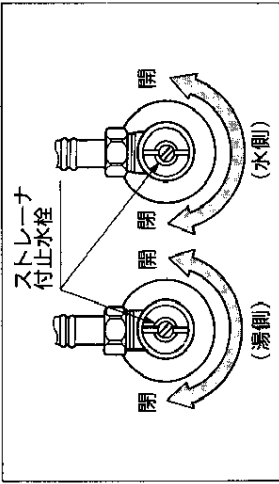
## 取付完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

1. 設置後、AC100Vタイプは電源プラグをコンセントへ差込み、乾電池タイプは乾電池をセットしてください。
2. この時止水栓は閉めておいてください。
2. スパウト部のLED付センサーを見て、LEDが点滅していないことを確認ください。もしも点滅していればスパウトの向きを少しかえて、点滅しないところで再固定してください。(この間、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。)
3. 手洗器・洗面器の種類によっては、LED付センサーのLED点滅が消えない事があります。その場合は、そのまま設置します。
- (約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。)
- なお、10分以内に作業が終了しない場合は、以上の操作(1~3)をやりなおしてください。
4. 止水栓を開いて給水してください。
5. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
6. 何らかの原因で約1分間連続して感知すると自動的に止水します。このような場合は、次のことを確認してください。
  - センサー面が汚れていないか。
  - スパウト部の取付位置が適切か。
  - 洗面器内に物が置かれていないか。

## 吐水量の調節

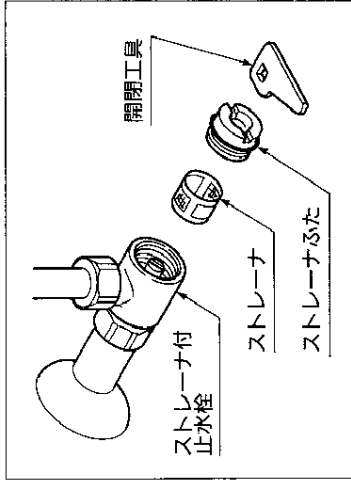
駆動部内部には、定流量弁(5L/min)を内蔵しており基本的に調節は不要ですが、吐水を絞る必要がある場合は、付属の開閉工具でストレーナ付止水栓を回して調整してください。



## ストレーナの掃除

ストレーナがつかると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもとさき掃除していただくようにご指導ください。

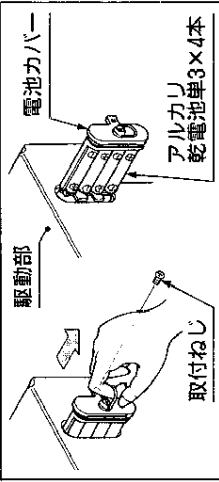
- ストレーナを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、ストレーナふたを外してください。



## 電池装着

(乾電池タイプの場合のみ)

1. 駆動部中央の取付ねじ1本をプラスチックイバーで外し、電池カバーを抜き出し、乾電池(アルカリ乾電池単3×4本)を装着します。(乾電池の取付方向に注意してください。)
2. 乾電池を電池カバーに取付け、駆動部へ差込み、取付けねじで取付けます。



- (注) 電池カバーは確実にめ込んでください。
- (注) 電池を入れる際駆動部に水が入らないよう注意してください。
- (注) 最初は付属の乾電池をご使用ください。

## 電池交換

(乾電池タイプの場合のみ)

駆動部の乾電池が切れると、スパウト部センサー内のLEDが、数日間感知するたびに1秒間隔で点滅します。また、機能が停止していれば、まずは電池の交換を行なっていただくよう、お客様にご指導ください。

1. 交換要領(電池装着の項を参照ください)
    - (1) 駆動部中央の電池カバー取付ねじをはずします。
    - (2) 電池カバーを抜き出し乾電池を交換します。
- (乾電池の取付方向に注意してください)
- (注) この際、乾電池は、異種や新旧の電池を混合しないでください。
- (3) もとどおり電池カバーを差込み、ねじで取付けます。
2. 交換要領をお客様へ説明してください。なお交換要領の詳細は"ご愛用のしおり"をご覧ください。

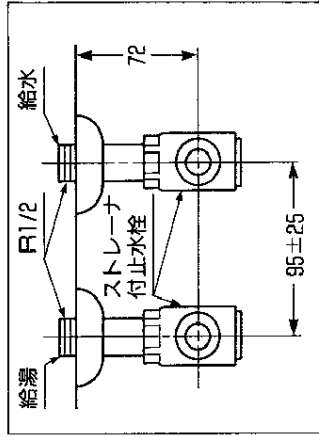
## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は"ご愛用のしおり"をご覧ください。

## 器具の取付け(その1)

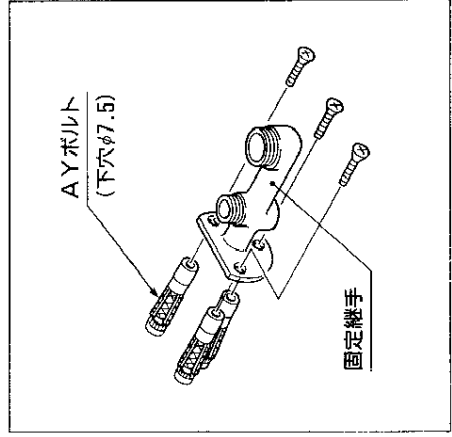
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

1. 器具への給水の取出し位置を確認してください。
- (注) 給水取出し位置一覧表の項を確認してください。
2. ストレーナ付止水栓を取付けます。



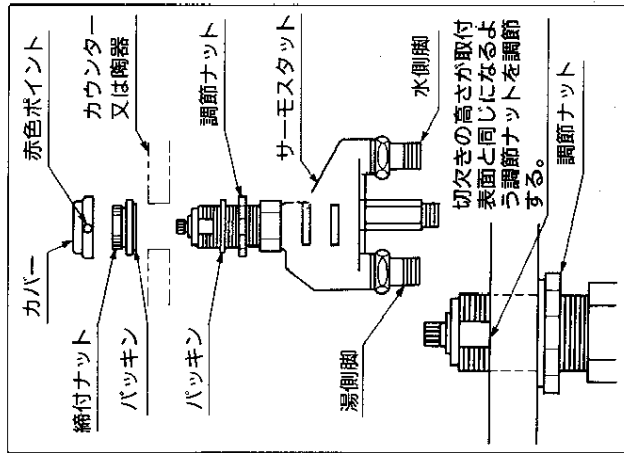
3. 固定継手を壁にA Yボルトで固定します。

- (注) 取付位置は給水取出し位置一覧表を確認してください。
- (注) A Yボルトの下穴はφ7.5ドリルをご使用ください。



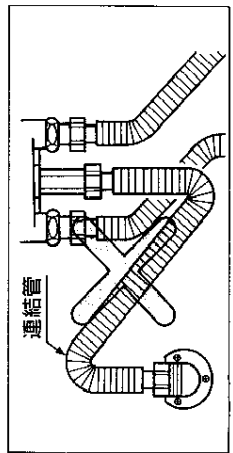
## 器具の取付け(その2)

④サーモスタットの調節ナットをカウンター又は陶器の厚さに合せて調節し、水側脚が正面に向かって右側に、湯側脚が左側になるよう締付ナットで固定します。カバーは赤色ポイントが正面にくるよう取付けます。

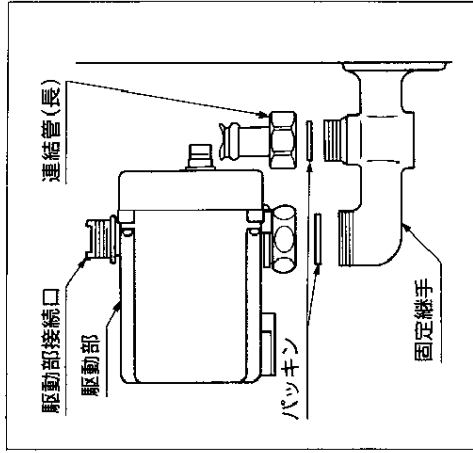


⑤ストレーナー付止水栓、サーモスタット、固定継手間の連結管(長:1本,短:2本)を接続します。

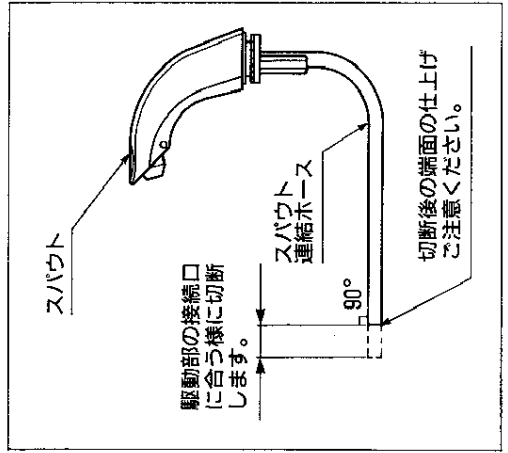
(注)バックシンを必ず取付けてください。  
(注)連結管に逆勾配がつかないように施工してください。



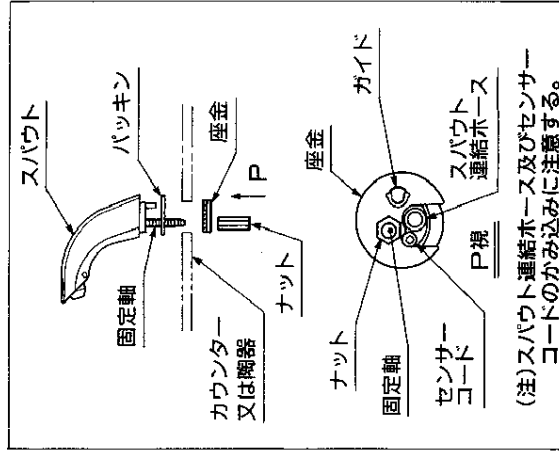
⑥固定継手に駆動部を取付けます。  
(注)バックシンを必ず取付けてください。



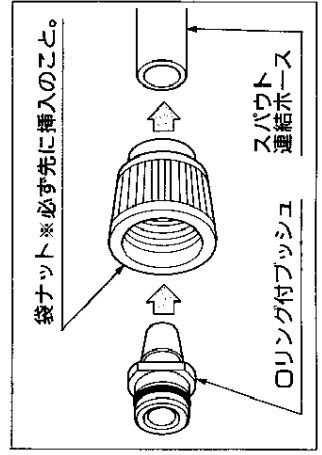
⑦スパウトを洗面器に仮固定し、スパウト連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さで切断します。このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。



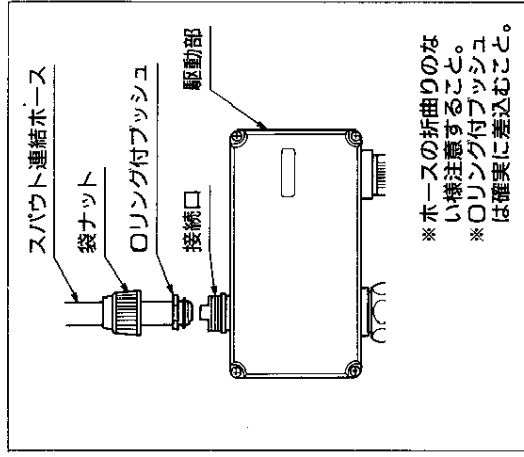
⑧スパウト部取付下部から、座金をスパウト連結ホースとセンサーコードの組み込み注意到取付けます。座金をとめるナットは、スパウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。  
(注)スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。



⑨スパウト連結ホースに端面から、袋ナットを通して後、オリング付プッシュユを差込みます。

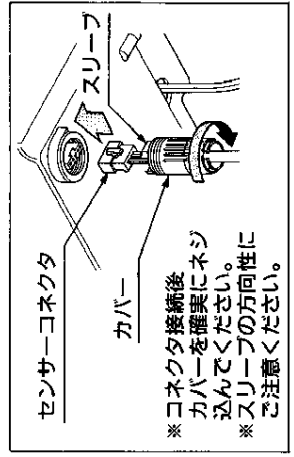


⑩オリング付プッシュユを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。オリング付プッシュユが、確実に差込まれているか確認し、締付けは手締めで行ってください。



⑪センサーコネクタを接続します。コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締付けは、手締めにて確実に行ってください。

(注)スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。

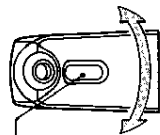


### 器具の取付け(その3)

#### 12 <AC100Vタイプの場合>

- 電源プラグをコンセントに差込みます。  
(乾電池タイプの場合)
- 駆動部中央の電池カバーを抜き出し、付属の乾電池を装着します。(乾電池の取付方向にご注意ください。)
- ※ 電池装着の項を参照ください。
- 電源が入ると、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間はこの動作は完了します。)
- 電源を入れてから約10分間は、感知してもLEDが点滅しますが、故障ではありません。(約10分後、LEDの点滅は消え、その後は正常に作動します。)

センサー内  
LED

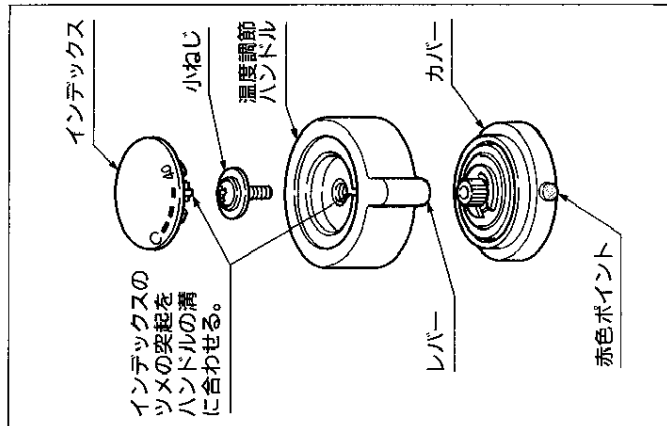


- ※ 電源を入れてから、約20秒間は、陶器内に物を入れないでください。
- ※ 陶器によって点滅が消えない場合がありますが故障ではありません。(約10分後、LED点滅は消え、正常に作動します。)

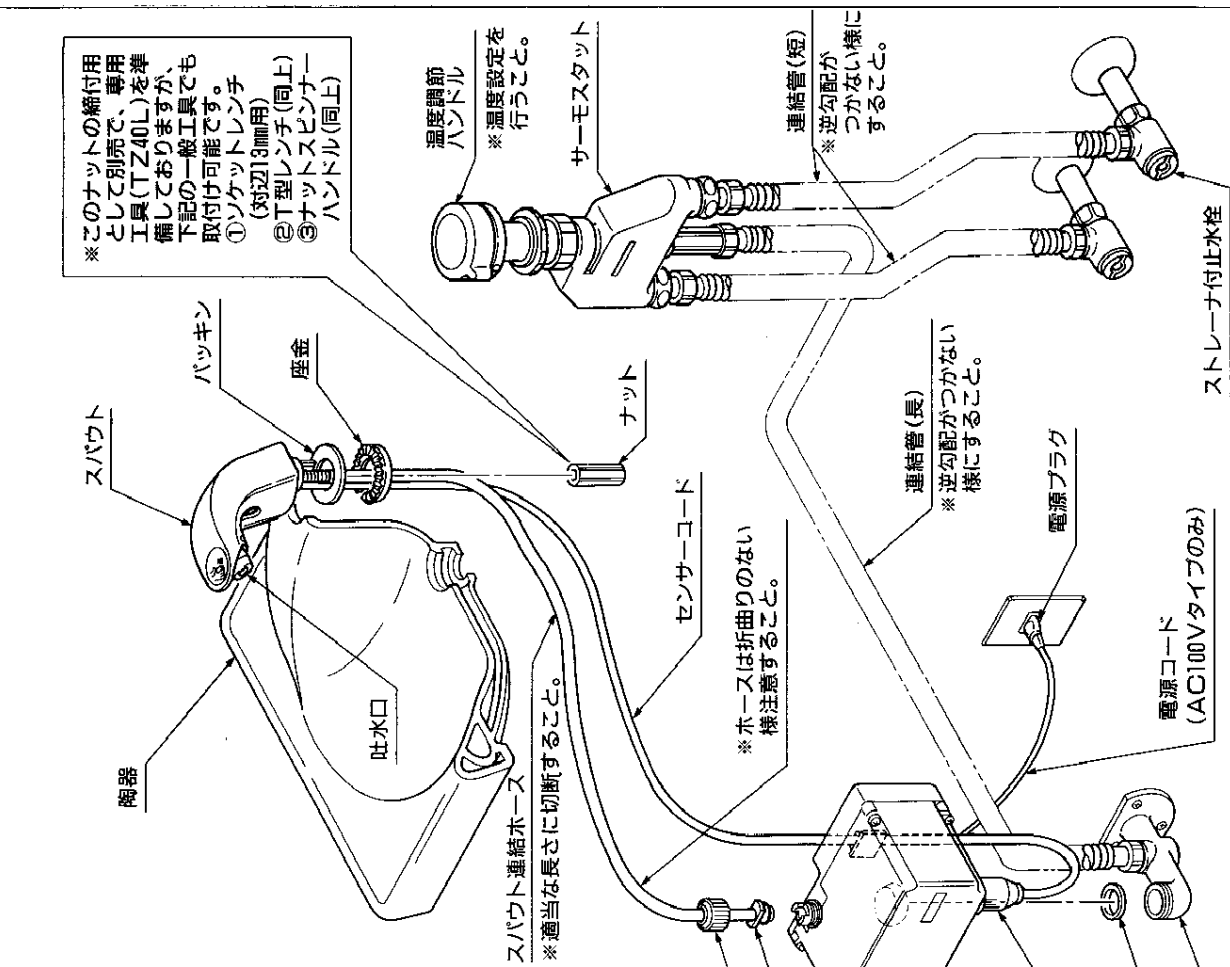
(点滅していれば少しずらして消えたところで固定する。)

#### 13 温度設定を行い温度調節ハンドルを取付けます。なお、設定する前に次のことを確かめてください。

- 止水栓が全開になっていること。
  - ストレナーのごみづまがつかないこと。
  - 十分な温度(60℃以上)のお湯がきていること。  
(設定要領)
- ① スパウトより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく38℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回します。
  - ② その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜きとります。
  - ③ ハンドルのレバーと赤色ポイントを合わせてはめ込みます。
  - ④ 温度調節ハンドルを小ねじで固定したのちインテックスをはめ込みます。



インテックスのツメの突起をハンドルの溝に合わせる。



※ このナットの締付用として別売で、専用工具(TZ40L)を準備しておりますが、下記的一般工具でも取付け可能です。  
① ソケットレンチ(対応3mm用)  
② T型レンチ(同上)  
③ ナットスピナーハンドル(同上)

温度調節ハンドル  
※ 温度設定を行うこと。

サーモスタット

接続管(短)  
※ 逆勾配がつかない様にすること。

ストレーナー付止水栓

スパウト

パッキン

座金

ナット

センサーコード

※ ホースは折曲りのない様注意すること。

接続管(長)  
※ 逆勾配がつかない様にすること。

電源プラグ

電源コード  
(AC100Vタイプのみ)

袋ナット

ロリング付プッシュ  
※ 駆動部取付の際は、確実に差込むこと。

駆動部

カバー  
※ センサーコネクタ取付後カバーを確実にネジ込むこと。

バックシン

固定継手